



第1591回 例会

2022年4月12日

前回(4月5日第1590回) 例会記録 天気:晴れ

4月12日 第2例会 本日のプログラム
会員卓話
山本会員

次回の予定(4月19日)第3例会
35周年親睦例会(夜間)

会員数:25名(出席免除者数:1名)

前回(4月5日)例会出席記録

出席者数	出席率	訂正出席率
20名	80.0%	なし

○会長報告

特にありません。

○幹事報告

- ①「総社圏域互礼会親睦ゴルフ大会の開催について」の案内が届いています。
- ②ロータリーの友委員会より、「新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件」のお知らせが届いています。
- ③公益財団法人 米山梅吉記念館より、「賛助会ご入会のお願い」が届いています。
※お一人、一口、年間3000円の会費です。
- ④2022年4月のロータリーレートは、1ドル=122円です。

※上記につき、詳細は事務局までお問い合わせください。

○メイクアップ&行事出席

3月30日 高梁ロータリークラブ例会出席
秋山会員

ゲスト・ビジター:大原美術館理事長 大原あかね様

《会長挨拶》



今日は私の仕事でよくよせられる相談からですが、自力救済(法律用語)についてお話させていただきます。
例えば、部屋を貸しているが賃料を3カ月滞納され荷物を置いたまま夜逃げされたとします。相手が賃料を滞納しているとか荷物を置いているからといって大家自ら荷物を処分したりするのは自力救済にあたり違法となります。これはどうしてかといいますとまさに近代法の原則の一つで、権利の有無や実現は全て司法(裁判所)にゆだねられるべきというのがあります。例えば強面の人を連れてきて部屋から立ち退きさせるような自力救済を認めてしまうと弱肉強食とか力の強い者が勝つ世の中になってしまいます。これを防止するために裁判所を通して権利を保護しようということになっています。自力救済の禁止はまさに近代法の知恵の一つということになっています。

☆プログラム☆
ゲスト卓話・大原美術館理事長
大原あかね様

大原美術館理事長・大原あかね様から「大原美術館物語」と題したお話をいただきました。大原美術館の歴史や所蔵する作品の紹介がありました。またコロナ禍であるので入館者の感染症対策に大変な苦勞をされているようです。このような状況ではありますがオンラインの活用や休館日を利用した子供たちの美術館への受け入れといった感染症対策と美術館体験の両立を模索され実現されていました。



予 定 表

4月・5月		
月 日	行 事 内 容	備 考
4月12日(火)	会員卓話・山本会員	
4月19日(火)	35周年親睦例会(夜間) / 担当 親睦活動委員会	コンベンションホールにて
4月26日(火)	休会	
5月 3日(火)	休会	
5月10日(火)	地区協議会	
5月17日(火)	ゲスト卓話・総社警察署 署長 山下正文 様	